

# 平成18年度 予算編成にあたって

七尾市長 武元 文平

当市の財政状況は、昨年度からご案内しているように、税などの自主財源の減少や、三位一体の改革の影響を大きく受け、歳入が歳出を支えきれないという危機的な状況となっております。

このような厳しい現状から、当初予算編成は、行財政改革プランの実行による歳出全体の見直しを行うとともに、歳入につきましても、使用料や手数料などの見直しにより、自主財源の確保を図ることとしました。その結

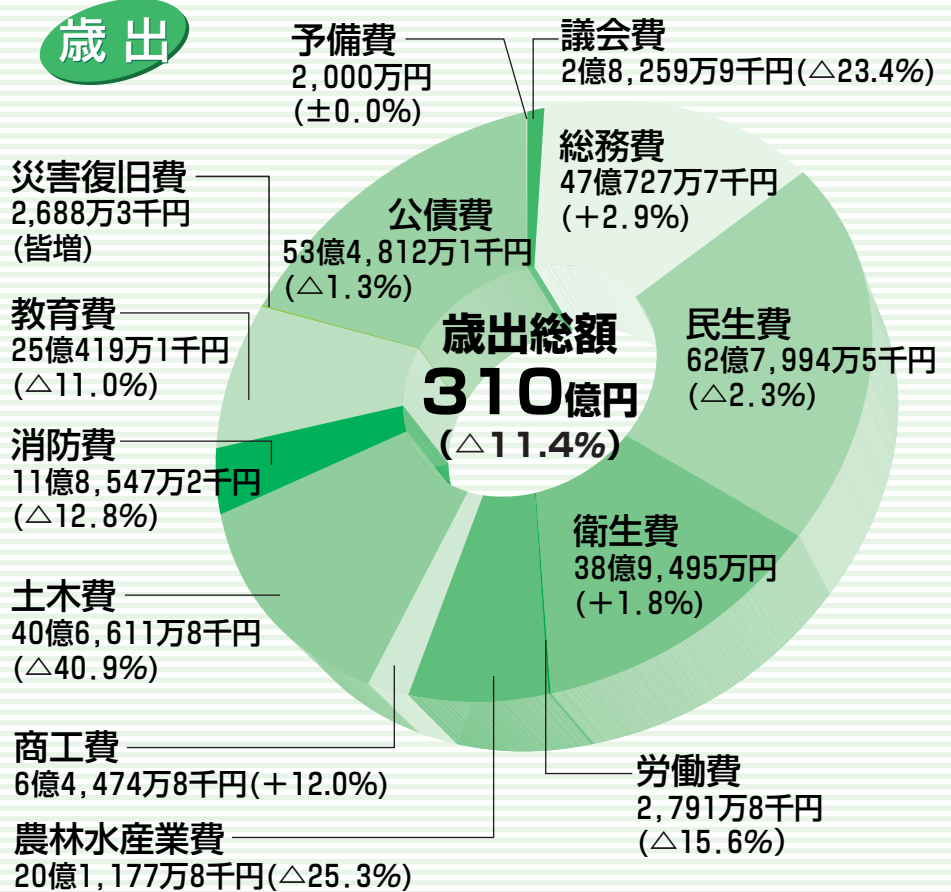
果、市民のみなさまに痛みや負担をお願いすることを、心からお詫び申し上げます。

このような中で、能登半島の中核都市にふさわしい健全・堅実な自治体経営を実現し、豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指していくため、平成18年度は、教育環境の充実や地場産業の活性化、交流人口の拡大、子育て支援体制の充実、高齢者の生活支援に重点を置いたものとさせていただきます。先日市議会の議決をいただきましたところであります。

これからも厳しい状況が続くこととなりますが、行財政改革を実行し、市民のみなさまに満足していただける行政サービスを提供してまいりたいと考えております。同時に、みなさまとともに未来を創造しながら、当市の将来像である「人が輝く交流体感都市」を実現するために、精一杯努めてまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 一般会計

( ) 対前年伸率



## 特別会計

( ) 対前年伸率

公営企業以外の特別会計

公共用地先行取得事業特別会計	4,632万8千円	(△4.6%)
ケーブルテレビ事業特別会計	8,063万4千円	(△13.7%)
墓地公園事業特別会計	27万4千円	(+1.5%)
国民健康保険特別会計	58億8,693万8千円	(+6.6%)
老人保健特別会計	77億6,126万3千円	(+0.9%)
介護保険特別会計	49億4,132万9千円	(△0.8%)
簡易水道事業特別会計	2億4,828万1千円	(+15.1%)
下水道事業特別会計	41億2,603万4千円	(△16.0%)
観光施設事業特別会計	1億190万4千円	(+38.0%)
公設地方卸売市場事業特別会計	1億3,553万9千円	(△41.7%)
分譲宅地造成事業特別会計	2,259万6千円	(△5.1%)
工業宅地造成事業特別会計	606万5千円	(±0.0%)
西岸財産区特別会計	12万円	(±0.0%)
水道事業会計(公営企業会計)	31億382万3千円	(+3.1%)